

ネットワークカメラ ファームウェアリリースノート

<p>対象機種： <b>WV-S32302-F2L</b> <b>WV-S32402-F2L</b>  <b>WV-S32302-F2L1</b> <b>WV-S35402-F2L</b>  <b>WV-S35302-F2L</b> <b>WV-X35402-F2LM</b>  <b>WV-S35302-F2L1</b>  <b>WV-X35302-F2LM</b></p>				
バージョン 更新日	ファームウェア※		更新内容 (項目末尾に「*」がついている項目は、別途「追加情報」チラシを参照ください)	備考
	WV-S32302-F2L WV-S32302-F2L1 WV-S35302-F2L WV-S35302-F2L1 WV-X35302-F2LM	WV-S32402-F2L WV-S35402-F2L WV-X35402-F2LM		
Ver2.50 2024/2/29	s32302_250ES.zip		<p>1.セキュリティ強化（署名付きファームウェア） ※括弧内文言追加（2024/4/4）</p> <p>2.CSR作成画面にSAN(サブジェクト代替名)の入力欄を追加</p> <p>3.SDメモリーカードへ記録（データ暗号）する際の初期パスワードを空欄に変更</p> <p>4.Webブラウザでライブ画表示中に、ストリームの送信フレームレート/ビットレートを表示する機能を追加</p> <p>5.i-PRO Remo. Serviceからカメラのファームウェアをバージョンアップする機能に対応（カメラダイレクト接続/エッジストレージ経由接続）</p> <p>6.セキュリティに関する以下の設定機能を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブルートフォース攻撃対策</li> <li>・ブラウザアクセス有効/無効</li> </ul> <p>7.[TLS1.2]の有効/無効を設定可能に変更</p> <p>8.録画ストリームのビットレートを高く設定した場合に表示される「録画映像の連続性に異常が発生する」旨のアラートが、新GUIのライブ画面で表示されない現象の改善</p> <p>9.SNMP設定を「Off」→「On」に変更する際に、コミュニティ名の入力が必要となるように変更</p> <p>10.ネットワーク設定のHTTPS接続方式における選択肢「HTTP」を実際の接続動作に合わせて「HTTP &amp; HTTPS」に変更</p> <p>11.H.265の描画性能を向上</p> <p>※詳しくは技術情報ウェブサイト&lt; 管理番号：C0132&gt;を参照してください</p> <p>12.HTTPアラーム通知のイベント種別に「診断」項目を追加</p> <p>13.Webブラウザから、HTTPアラーム通知にポート番号 69 を使用できるように改善</p> <p>14.画面内に埋め込まれているURLのリンク先を現在のi-PROブランドサイトに合わせて変更</p> <p>15.AIプライバシーガードアプリケーション（WV-XAE201WUX）への対応として以下の内容を改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「モザイク対象外領域設定」としてモザイクを掛けたくない場所を設定</li> <li>②「モザイク対象外領域設定」の多角形対応</li> <li>③今のAIプライバシーガードの「ガード対象」の選択肢に「全て（対象外領域除く）」「人以外」を追加</li> </ul> <p>【変更前】「全身」「顔」</p> <p>【変更後】「全身」「顔」「全て（対象外領域除く）」「人以外」</p> <p>16.i-PRO Remo. ServiceにおけるID/パスワードでのユーザ認証は登録時のみとするように改善（運用開始後、i-PRO Remo. ServiceのWebブラウザ上の変更のみでID/パスワードの変更ができる）</p> <p>17.i-PRO Remo. Serviceを有効にすると、NTPの時刻同期が有効になるように改善</p> <p>18.i-PRO Remo.Serviceを有効に設定した際、カメラの解像度・フレームレートなどをi-PRO Remo. Serviceが推奨とする値に自動で設定されるように改善</p> <p>19.i-PRO Remo. Serviceへ初回カメラ登録時に接続失敗した場合、確認する設定項目を表示するように改善</p> <p>20.i-PRO Remo. ServiceをLTE無線通信ユニットに接続し、低速通信になっている場合にi-PRO Mobile APPからの録画ダウンロードに失敗する現象がある現象の改善</p> <p>21.機能拡張ソフトウェアのインストールに失敗した際、エラー要因が特定できる情報を管理ログに残すように改善</p> <p>22.機能拡張ソフトウェアの登録と削除を繰り返すと、稀に機能拡張ソフトウェアが登録できなくなる現象の改善</p> <p>23.極稀にバージョンアップに失敗する現象がある現象の改善</p> <p>24.SNMP認証方式から「MD5」を削除</p> <p>25.IEEE 802.1Xの[EAP方式]から「EAP-MD5」を削除</p> <p>26.VMDのエリア、検知感度などを設定した後にカメラ再起動すると、検知されにくくなる現象の改善</p> <p>27.新GUIにおいて、HTTPSのポートを443以外に設定している場合、音声の送話ができない現象の改善</p> <p>28.画像回転を「90°」「270°」設定時にVMDを設定すると、ライブ画ページからVMDをOFFにできない現象の改善</p> <p>29.MQTT設定を「On」、ポートを「443」に設定した際にアラームによるイベント動作を通知できない現象の改善</p> <p>30.ネットワークレコーダーとの接続において、ストリーム1/2を同時配信した状態で更にSDメモリーカードに上書き録画をしていると、極稀にカメラ再起動することがある現象の改善</p> <p>31.ライブ画面から送話設定時、「受話」を「G.711」に設定後に「送話」設定に変更すると、送話ができない現象の改善</p> <p>32.解像度320x180、文字サイズ100%の場合に全角の“ ”が表示されない現象の改善</p> <p>33.Webブラウザ「Firefox」使用時、スケジュール設定画面の緯度・経度・標高の表示がはみ出してしまふ現象の改善</p> <p>34.端子アラームをアラームマスク「0.5s」で独自通知設定した場合に、1s間隔で通知されてしまふ現象の改善</p> <p>35.FTP転送時、プレアラームを設定した状態で撮像モードを変更すると、1回目のアラーム検知でFTP転送時のプレ画像が転送されない現象の改善</p>	
Ver2.49 2024/2/29	s32302_249ES.zip		<p>1.セキュリティ強化用中間ファーム</p> <p>2.録画ストリームのビットレートを高く設定した場合に表示される「録画映像の連続性に異常が発生する」旨のアラートが、新GUIのライブ画面で表示されない現象の改善</p> <p>※本件は下記品番のみ該当</p> <p>WV-S32302-F2L/S32302-F2L1/S35302-F2L/S35302-F2L1/X35302-F2LM</p>	
Ver2.41 2023/12/15	—	s32302_241ES.zip	初版	品番追加 WV-S32402-F2L WV-S35402-F2L WV-X35402-F2LM
Ver2.40 2023/9/26	s32302_240ES.zip	—	<p>1.機能拡張ソフトウェアのインストール、及びアップデート時に、通信速度が遅い環境下でも失敗しにくくなるように改善</p> <p>2.機能拡張ソフトウェアをバージョンアップした際に、データ格納領域（AIアプリの検知結果記録など）のファイルを削除しないように改善</p> <p>3.ブラウザ（Google Chromeなど）やWV-ASM300UXから、SDメモリーカード内の録画データをダウンロードすると、通信状況が悪い場合にダウンロードが失敗する現象がある現象の改善</p> <p>4.SNMPトラップ設定の通知先ポートを初期設定（162）以外に設定しても、初期設定（162）に送信されてしまふ現象の改善</p> <p>5.MQTT通知が、音検知アラームのAI音識別対象が「その他」以外を選択すると通知されない現象の改善</p>	
Ver2.38 2023/9/19	s32302_238ES.zip	—	初版	

<b>対象機種：</b> WV-S32302-F2L    WV-S32402-F2L WV-S32302-F2L1    WV-S35402-F2L WV-S35302-F2L    WV-X35402-F2LM WV-S35302-F2L1 WV-X35302-F2LM				
バージョン 更新日	ファームウェア※		更新内容 (項目末尾に「*」がついている項目は、別途「追加情報」チラシを参照ください)	備考
	WV-S32302-F2L WV-S32302-F2L1 WV-S35302-F2L WV-S35302-F2L1 WV-X35302-F2LM	WV-S32402-F2L WV-S35402-F2L WV-X35402-F2LM		

※ファームウェアは「zip」形式の自己解凍型圧縮ファイルとなっております。ご利用の際は展開後、拡張子「.img」ファイルにてご利用ください。